



武蔵野市の学校建て替え計画



市教育委員会では、第二期学校施設整備基本計画策定審議会を設置し、未来の学校像を見据えた計画づくりを進めています。審議会では、子どもの学びを第一に、①**全市的な視点から見た中学校の適正な数**、②**未来における教育を見据えた校舎のあり方について**、建築面や財政面など、様々な観点

から審議しています。

令和7年度の審議内容がまとめられた「中間まとめ」に対するパブリックコメントで提供された意見も踏まえて、令和8年度も審議が進んでいます。令和8年度に開催した第6回、第7回の審議内容をご紹介します。

審議会から提出された
中間まとめの主な事項

■ 適正規模

小中学校ともに1校「12～18学級」にまとめられました。
(小学校1学年2～3学級、中学校1学年4～6学級)

■ 第二中、第六中改築に関する方策

第二期計画期間中に改築を予定している第二中・第六中については再編し、統合新校を設置することが望ましい。

第6回
審議会中間まとめに対するパブリックコメントと
審議会としての対応方針

意見	審議会としての対応方針
今後、生徒数が減少していくことへの対応が必要。	審議会としてまとめた適正規模を確保することにより、多様な人間関係を学べるだけでなく、教員が多くなることで学校事務を分担でき、教員の充実した指導体制を確保できる。
教員を確保し指導体制を整えることが重要である。	
多様な人間関係を経験する必要がある。	
通学距離が遠くなることで生徒に負担がかかる。	自転車通学を認めることや学区の弾力化などの対応が考えられる。
審議会としてまとめた適正規模に満たない学校の方がきめ細かい指導ができる。	教員の数は学級数に応じて配置されるため、審議会としてまとめた適正規模の学校でもきめ細かい指導ができる。
第二中、第六中を再編すると、第六中エリアの地域活動拠点及び避難所がなくなる。	学校が減ることについての地域への丁寧な説明が必要である。また、避難所の計画についても検討が必要である。
1学級当たりの人数を減らしてほしい。	1学級当たりの人数は国及び東京都教育委員会が定める事項のため、市の権限では対応が困難である。
未来の教育を見据えた校舎についてもっと議論すべき。	令和8年度の審議会で審議する。

第7回
審議会学校施設整備に対する
主な意見について

安心できる居場所

最近建て替えた第一中、第五中を使用する教職員、生徒の感想として、ラーニング・コモンズが憩いの場になっていたり、学年コモンズが生徒同士の交流の場になっていていいと思う。一方で、普通教室の廊下側がガラスの可動間仕切りのため、見られている意識が強く、落ち着かない空間になっていると感じた。子どもたちが落ち着けるような空間整備の視点がもっとあるといいと思う。

学校と地域との接点

学校は、子どもたちが地域のさまざまな大人と出会い、社会とのつながりを感じられる場であってほしい。計画のたたき台（審議会資料4）にも、「学校・家庭・地域の連携・協働を支える施設」という記載はあるが、単に地域開放エリアを設けるだけでなく、子どもたちが地域の方々の活動や存在を自然に感じられるような、ゆるやかな接点のある空間づくりを検討してほしい。

災害時の避難所

災害発生時には、いち早く、安全に避難所の開設をしなければならない。そのためには、避難所施設の使用環境を整えておくことが必要であり、荒天時であっても機能する環境が望ましい。また、避難所の利用計画は、時間の経過とともに変更が求められる。利用形態に合わせ、柔軟に変更可能な施設設計とする必要がある。

次回の審議会（第8回）
8月24日（月）午後5～7時
市役所802会議室

審議会の経過と
今後の予定



問合せ 教育企画課 学校改築係 TEL (60) 1972

小学生・中学生の受賞者の皆さん



活躍しています！
武蔵野市の子どもたち

詳しくは2・3面へ

小学生の受賞者の皆さん



教育長コラム

文化の融合と調和

教育長 吉原 健

よしはら たけし



武蔵野市の歴史を振り返ると、古くからこの地に住んでいた人々と、都心など外から移住してきた人たちの文化が混在し融合しながら、それが調和的に発展し、新しい文化が生み出され、フロンティアな気風となって今の特徴ある本市の市民文化につながっていることがわかります。

「武蔵野市生涯学習に関する調査報告書（令和7年3月）」の「市民向け調査結果」を見ると、『あなたは今後、何かを自分から学びたいと思いますか？』という質問に対して、「学びたい」「学びたいことがみつければ、学びたい」と回答した【学びの積極層】が93.9%でした。

これらの結果を見ても、市民の皆様の学びの意欲の高さがわかります。学びに熱心な本市の市民性は、これまでの歴史の中で、異なる文化を受け入れ合い、融合と調和を図りながら新しい文化を創出し続けてきたことが背景にあると考えます。

よく「大人の学びの姿も、子どもたちの学びの姿の相似形である」と言われますが、子どもにとって大人はよき学びのロールモデルとなる存在です。こうした本市の市民文化の背景もよく理解しながら、未来を担う子どもたちと向き合っていきたいと考えています。



問合せ 教育企画課 教育企画係 TEL (60) 1894

活躍しています！

武蔵野市の子どもたち／ 武蔵野市教育委員会 児童生徒表彰

詳しくはこちら



教育委員会では、子どもたちが自信や意欲を高めることができるよう、市立小中学校の児童生徒の皆さんの優れた成績や活動等を表彰しています。令和7年度は、33組の皆さんを表彰しました。表彰式は、令和8年3月7日に武蔵野芸能劇場にて開催しました。

第六中
伊藤駿 さん第二小
伊藤咲絵 さん第五小
伊藤爽介 さん(右)大野田小
山崎泰地 さん大野田小
山崎和渚 さん第四中
山崎隼翔 さん第四中
岩村和香 さん第一小
中澤明里 さん第一中
藤原彩路 さん

ブルグミュラーコンクール
東京ファイナル
主催：ブルグミュラーコンクール実行委員会

第二小
杉本絵麻 さん桜野小
今村杏 さん第三小
吹奏楽団大野田小
榎原光莉 さん第一中
八重樫颯 さん
(左から2人目)第三小
吹奏楽団第一中
佐々木健太朗 さん第四中
岩田美智花 さん関前南小
高橋慧 さん関前南小
中里恵菜 さん第一小
矢上和奏 さん第一小
島田陽菜乃 さん大野田小
岩田に穂花 さん桜野小
村山菜々瀬 さん第四中
榎原徳馬 さん
(後列左から3人目)第四中
宇田川和心 さん

問合せ 教育企画課 教育企画係
TEL (60) 1894

掲載している人物・団体等は武蔵野市と直接の関係を有するものではありません。

開かれた 学校づくり協議会

開かれた学校づくり協議会は、令和7年度から学校運営のパートナーとして地域が主体的に学校づくりに参加する仕組みとなりました。地域の特色を生かした学校づくりをさらに推進します。

効果検証結果と取り組み紹介

開かれた学校づくり協議会の主体性に着目して、令和6年度との比較検証を行いました。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① 忌憚なく意見を出し合える雰囲気 | 5ポイント↑ |
| ② 学校の成果・悩みの共有 | 12.3ポイント↑ |
| ③ 学校や教員との関係構築 | 11.8ポイント↑ |
| ④ 地域の安定した環境作りや愛着醸成 | 14.3ポイント↑ |

また、建設的な議論が継続できる体制であるかについても90%以上が肯定的な回答となりました。

昨年度の取組紹介 ● 境南小学校

6年生が「境南町のつながりを深め、笑顔を増やすこと」をコンセプトに「6年境南祭2026」を企画し、卒業を間近に控えた3月に開催しました。地域と協働し、探究学習の成果として参加者が楽しめるブースが用意され、約1500人が来場しました。



問合せ 指導課 教育推進室 TEL (60) 1241

生涯学習やスポーツの情報誌をご活用ください。

一人ひとりが自分に合った学びの機会を見つけられるよう、「学びの土台」づくりの一環で、分かりやすい情報提供を推進するため、市役所、市政センター、図書館、総合体育館、コミュニティセンターほかで配布しています。市のWEBページやLINEからもご覧いただけます。

① 小・中学生の講座まるごとナビ

市立小・中学生は学習者用コンピュータでも閲覧可能です。

② 大人のための生涯学習ガイド

生涯学習事業をジャンル別に紹介しています。

③ Musashino Do!

(公財) 武蔵野文化生涯学習事業団が実施する「芸術文化」「スポーツ」「生涯学習」などの情報を発信する広報誌。年3回(3月・8月・11月)発行します。



問合せ 生涯学習スポーツ課
生涯学習係
TEL (60) 1902

武蔵野庭球場と緑町スポーツ広場の リニューアルオープンについて

1月後半から進めてきた庭球場の工事が間もなく終わり、9月中旬から利用再開の予定です。新しいコートは最高で14.9mの防球ネットを備え、人工芝も全面的に張り替えます。安心して気持ちよくプレーができます。

また、緑町スポーツ広場の人工芝も張替え工事の準備をしているところです。11月頃から休場し、年度内には工事を終えるように進めていきます。

みなさんが快適に使用できる施設を目指しますので、工事の完了を楽しみに待っててください！

問合せ 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進係
TEL (60) 1903

武蔵野市 いじめ防止基本方針の 改訂について

令和8年3月に改訂した武蔵野市いじめ防止基本方針について理解を深め、小・中学校におけるいじめの防止等について、ご協力をお願いします。

いじめにまつわる子どもの声

おたがいの話をちゃんと聞けるようにしたい。

友だちの変化にすぐ気づくことが大切だ。

つらい時、助けを求めるときも勇気だと思う。

私たちが大切にすること

いじめを防ぐには、友だちの変化にすぐ気づくことが大切だ。

いじめの問題を学校だけでなく家庭や地域とも共有して当たっていくとよい。

インターネットがきっかけとなることがあるので、約束づくりが大切。

武蔵野市いじめ防止基本方針

武蔵野市では、子どもと大人が一体となっていじめを防いでいきます

方針1
すべての児童・生徒が安心できる学校風土を実現します

方針2
いじめを防ぐために、児童・生徒が自ら行動する力を育みます

方針3
迅速・確実な組織的対応を徹底します

方針4
いじめの重大化を防ぐ専門的・継続的な連携体制をつくります

問合せ 指導課 指導主事 TEL (60) 1898

不登校の経験のある
中学生の学びの場

「チャレンジクラス」 ができました

不登校経験のある中学生の学び直しの場所として、第五中学校にチャレンジクラスができました。



Q チャレンジクラスって
どんなところ？

A 今の学校には行きづらいけれど、勉強の進度が気になる、勉強したい中学生が通うクラスです。

Q 今の学校と
何が違うの？

A 朝の始まりが通常の学級より遅めだから、朝起きるのが苦手な生徒もゆっくり学校に通えます。

Q 勉強が分からなくなる
ことが心配

A 学校の先生が、どこが分からないか一緒に考えて教えてくれます。

Q 部活動はできる？

A 他のクラスの生徒たちと一緒に部活動ができます。

Q どうやったら通えるの？見学はできるの？

A 今通っている学校の先生にチャレンジクラスに興味があることを伝えてください。先生を通してチャレンジクラスの申し込みができます。教室などの見学、授業の体験もできます。



問合せ 教育支援課 特別支援教育・教育相談係(教育支援センター担当) TEL (60) 1899

社会教育委員の就任

令和8年4月に新たに委員を委嘱しました。任期は2年(令和8年4月1日から令和10年3月31日)です。肩書は就任時のものです。

	氏名	職名等	区分
議長	辻本 昭彦	法政大学生命科学部 教授	学識
副議長	新村 とわ	成蹊大学法学部 教授	学識
	佐々木 仁	武蔵野市立第六中学校 校長	学校教育
	谷川 拓也	武蔵野市立桜野小学校 校長	学校教育
	阿部 昌子	武蔵野市立境南小学校 地域コーディネーター	社会教育
	岡本 厚子	武蔵野市民交響楽団 事務局長	社会教育
	小町 友則	NPO法人武蔵野自然塾 理事	社会教育
	齋藤 秀夫	一般社団法人武蔵野市スポーツ協会 専務理事	社会教育
	三浦 太郎	一般社団法人武蔵野青年会議所 監事	社会教育
	伏見 奈美	青少年問題協議会 第四地区委員会 委員長	家庭教育
	三原 忍	元武蔵野市立第一中学校PTA会長	家庭教育
	木下 大生	武蔵野大学人間科学部 教授	学識

問合せ 生涯学習スポーツ課 生涯学習係 TEL (60) 1902

新教育委員の就任

市議会の同意を得て、4月1日付けで嶋田晶子氏が新たな教育委員に任命されました。嶋田氏は青山学院大学文学部を卒業後、桜野小学校校長、第五小学校校長、公益財団法人日本学校保健会事務局長などを歴任。任期は令和12年3月31日までです。



問合せ 教育企画課 教育企画係 TEL (60) 1894



来場2万人目の方(左・中)と
吉原教育長(右)

満開の藤棚が彩る 「旧赤星鉄馬邸」一般公開

4月15日から19日に満開の藤棚が彩る旧赤星鉄馬邸を一般公開しました。令和4年10月に初めて一般公開を行ってから、令和8年4月15日に来場者が2万人に達しました。2万人目の方に教育長から記念の盾を贈呈しました。

問合せ 生涯学習スポーツ課 生涯学習係 TEL (60) 1902